

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

こりす 2歳児クラス便り

令和5年8月22日
文責 大角 千代美

きらきら輝く太陽の下、子ども達は暑さなんてなんのその、と元気に遊び回っています。好奇心旺盛な子ども達は疲れきるまで動き回り、自分を自分でコントロールする事は難しいものです。暑さで食欲がなくなったり、寝不足になったり、疲れやすくなったり・・・と何かと体調を壊しやすいこの時期、特に水遊びがあった日は体力が低下しがちです。子どもの体調管理を心掛けていきたいと思います。

友達との関わり合い

～自由遊びから～

18日（金）のクッキングの日にかもしか組の部屋で遊んでみました。子ども達が最初に向かったのがエプロン、三角巾の入っている籠でした。かもしかさんがクッキングでエプロン、三角巾を着用していたからでしょう。女の子も男の子もままごとコーナーで遊ぶ子どもは次々に「してください」と手助けを求めています。鍋や茶碗に野菜を入れてあやこ先生に「はい、どうぞ」と持って来るのえるちゃん。後ろからよしひろ君も野菜入りの茶碗を持って来ては「どうぞ」と差し出します。あつき君は所狭しと台所を動き回り、鍋に野菜を入れてはコンロで炒めたり、炊飯器やコーヒーメーカーに食材を詰めては一人クッキングを楽しんでいました。

ままごとする子ども達の横では井形ブロックで好きな物を作って遊ぶひなのちゃん、えいと君、きいちゃんの姿がありました。タイヤを見つけては「車を一緒に作ろうよ」とえいと君がひなのちゃんを誘います。「いいよ、一緒に作ろう」とひなのちゃんも嬉しそうです。きいちゃんはブロックを横並びに繋げては広げ一人で楽しみながら、時々、二人の様子を伺っています。最近、子ども達の遊びを見ていると友達同士の関わりが以前に増して深くなり、仲間を作って集まり遊ぶ姿を多く見かけます。言葉の発達はもちろん、友だちに対する優しい心が芽ばえてきた様に思います。困っている子がいると「どうしたの?」「大丈夫?」と声を掛ける姿や優しく肩や背中をさする姿を目にする事もあります。友達に対する思いやりや優しさ、感謝の心、相手を思う気持ちがますます育つ様に見守っていきたいと思います。

- お願い** ① 登園は股付サンダルで構いませんが散歩に行く時には靴を使用しますので必ず園用の靴と靴下の準備をお願い致します。靴下や自分の靴がなくて困っている子が見受けられます。ご協力をお願い致します。
- ②排泄の失敗が少なくなり着替える回数が減って来ています。子どもさんの衣服の量の調整をして靴の中の物が取り出しやすい様にお願ひ致します。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂 (099-482-2927) 横峯友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)

